

SHINING PEOPLE TODA

特集インタビュー
TODA PROFESSIONALS
戸田の
プロフェッショナルたち



お気に入りの散りばめられた心地よい故郷

なつ な 夏菜 さん 【俳優・タレント】

NATUNA

1989年5月23日、戸田市生まれ。映画や舞台、雑誌、CMのほか、バラエティーやドキュメンタリー番組などにも出演。俳優、声優、タレントとして幅広く活躍している。令和元年に戸田市初の「とだPR大使」に就任。ワインエキスパートの資格を持っているほか、モダンバレエ、スキューバダイビング、料理など多彩な趣味を持つ。2021年に一般男性と結婚。2022年には第一子を出産。

Born in Toda City on May 23rd, 1989. She is a highly versatile entertainer, active as a screen actress, voice actress, and television personality.
Comment from Ms. Watanabe:
"I think the people and the whole city are full of life. Every time I go home to Toda, I see families with children, and it's close to Tokyo, but still has wonderful natural scenery."



小学校の思い出はすべてプリムローズに!



「戸田は生まれ育ったまちなので、とても思い出のある場所です」と語る夏菜さん。今でもたびたび、戸田に帰省するという夏菜さんの大好きな場所は市内あちこちにあります。

特に思い出の深い特別な場所が、彩湖・道満グリーンパーク。「今でもふと、道満に行きたいな〜って思うことがあります」と話す夏菜さんは子どもの頃、「土日は道満」というほど、家族や友だちと足を運んでいました。土日だけでなく平日の早朝にも、お父さんと走りに行くこともしばしばだったようです。「あの辺りは水と緑に恵まれていて、走っていて気持ちよかったです。道満だけでなく、戸田って荒川から離れた住宅地の中にも公園がたくさんありますよね。常に自然と触れ合えるのも魅力の1つだと思います」



それから、「小学校時代の思い出が全部詰まっている場所」と振り返るのが、児童センター「プリムローズ」。夏菜さんが笹目東小学校に通っていた頃、放課後は小学校の目の前にあるプリムローズに立ち寄るのが日課でした。「夏のボランティアにもよく参加していました。夏祭りのお化け屋敷も一生懸命つくりました(笑)」

また、アルバイト経験もあるイオンモール北戸田はいつもショッピングを楽しんでいた場所。「自然はいっぱいあるけど、東京に近くて便利だし、商業施設も充実している。その程よいバランスがいいですね」と夏菜さん。

戸田を離れてからも、地元の友だちに会いに来ることも多いという夏菜さん。「小さい頃は友だちのご両親や地域の人にもお世話になりました。そういう意味でもすごく思い出のあるまちですし、今でも帰ってくるととても居心地いいなって思います」。特に、戸田橋花火大会の時期には毎年欠かさず、戸田に戻ってくるそうです。友だちの家の屋上で、バーベキューをしながら花火を見るのが夏菜さんの恒例行事。

戸田の魅力について尋ねると、「人やまち全体に活気があるところだと思います。いつ戸田に戻っても、子ども連れの家族を見かけますし、東京に近いのに自然が豊かなのもいいですね」と笑顔で話す夏菜さんは、こうした戸田のポテンシャルを生かすアイデアとして公園の活用法も提案してくれました。「子ども連れのママさんたちが楽しめる場所。例えば、公園にキッチンカーをいっぱい呼んだり、カフェをつくらせて、若い人や家族連れがゆっくりできる空間をつくれれば、にぎわいを創出できますし、まち全体が面白くなると思います」。ほかに、「夜の彩湖でイルミネーションとかプロジェクションマッピングをやれば、もっと彩湖の素晴らしさを多くの人に味わってもらえるのでは」と、小さい頃から彩湖の自然の美しさを体感してきた夏菜さんならではのアイデアも。

映画やドラマ、バラエティーと幅広く活躍しながら、戸田への愛情を出演番組やSNSで発信している夏菜さんは「とだPR大使として戸田の潜在的な魅力を引き出し、アピールしていきたいですね」とにっこり。豊かな感性と表現力で多くの人を魅了する夏菜さんなら戸田のさらなる魅力を多くの人に届けてくれるはず。



1989年5月23日、出生于户田市。作为演员、配音演员、艺人广泛活跃在影视界。夏菜小姐点评，“我认为无论是这里的人还是这座城市，都焕发着活力。无论我什么时候回到户田，都能够看到养娃带娃的家庭，离东京很近，自然环境却很优美，真是个好地方”

コロナ禍での影響は?
映画の撮影やテレビの収録が延期になってスケジュールが空くことも多く、体調面、精神面ともに大変でしたね。ただ、その分、自分の人生と向き合う時間が増えましたね。本を読んだり、自然の中に身を置いたりするうちに、実はそういう時間が人生においてとても大切だったということに気づかされました。これからは、もっといろいろな世界を見て、自分の視野を広げていきたいですね。

最近始めたことは?
最近ではないのですが、例えば、YouTubeは新型コロナが流行する前から配信していましたが、コロナ禍でより多くの人に見ていただいているという実感がありますね。それと、新型コロナの影響もあって、公園に行く機会が増えました。もともと、彩湖・道満グリーンパークもよく行ってたし、自然は大好きだったので、コロナ禍で自然に触れる機会が増えたことはよかったですね。

取材2020年11月16日



「おいしい」を通して、
“ハッピー”を届けたい!

TOBA SYUSAKU

とば しゅう さく
鳥羽 周作 さん 【モダンフレンチレストラン シェフ】

1978年5月5日、戸田市生まれ。Jリーグの練習生、小学校の教員を経て32歳で料理の世界へ。有名レストランでの修業を経て、2018年に東京・代々木上原のフレンチレストラン「シオ (sio)」をオープンし、ミシュラン一つ星を3年連続獲得。2021年、とだPR大使に就任。

Born in Toda City in 1978. In 2018, he opened the French restaurant Sio in the Yoyogi-Uehara neighborhood of Tokyo, and this establishment has earned a Michelin 1 star rating for three consecutive years.
Comment from Mr. Toba:
"I want to come up with systems that bring happiness to everyone involved in food in Toda City. I think that will eventually make the city more appealing."



▲ミシュランにも認められた鳥羽さんの代々木上原の人気フレンチレストラン「sio」

食のプラットフォームを構築したい

はじけるような笑顔と抜群の存在感で人々を魅了する、戸田で生まれ育った鳥羽さん。「戸田が大好き。戸田市を出ようと思ったことは一度もありませんね(笑)」と断言するほど、“戸田愛”にあふれています。

サッカーをやっていた鳥羽さんが若い頃、よく行っていた彩湖・道満グリーンパークや、荒川の土手は昔も今もお気に入りの場所。「若い頃は走りに行ったり、川を見てぼ～っとしたりしていました」そして現在は、「1日のリセットタイムとして夜、2時間くらい一人で土手を散歩しています。その時にアイデアが浮かんだりするので、散歩は自分のクリエイティブな時間として大切なんです」

戸田市の魅力を尋ねると、「なんでも程よいところ」ときっぱり。「交通の便がいいので、原宿や渋谷に行くのも楽し、駅周辺や17号沿いには魅力的なお店がたくさんあります」と鳥羽さん。一方、2人の子どもの持つ鳥羽さんが「子育て環境として最適」と感じるのが豊かな自然環境。特に、荒川や彩湖といった自然スポットがお勧めだそうです。「オシャレすぎない、かといって野暮たくない。今、戸田って若い人にめちゃくちゃ人気がある。ほんと、いまちだなんて思います」



今回、とだPR大使に就任した鳥羽さんは「今こうして自分があるのは戸田のおかげという思いが強いですね。PR大使になったからには、『おいしい』を通して戸田に貢献したい」と意気込みます。

鳥羽さん自身、これまでも飲食店をプロデュースするなど、いろいろな形で戸田市に関わっています。「料理って、人を喜ばせることができる。僕は『人を喜ばせたい』という気持ちが強いと思います。その思いが結果として、戸田市を幸せにできるんだったら、めちゃくちゃやりがいがある。それこそ、PR大使としての務めだと思っています」と満面の笑みで語ります。



料理人になったきっかけは?

父親が料理をやっていたこと、自分も食べることをやることが好きだったから、料理の道を極めようと思いました。好きが持続しているから、今も続けているんですよね。

料理の魅力は?

例えば災害に見舞われた時、温かい豚汁をもらったらめちゃくちゃ幸せな気持ちになると思いませんか?料理って人間の本质に関わるもので、その仕事に携われることは、とてもありがたいですね。世の中の課題を解決する手段の1つとして、料理の力はすごいと思っています。

活動の原動力は?

人を喜ばせたいという思いだけです。料理も人のためにしかつくりません。自分で食べる料理はつくらないですね。どんなに疲れていても、誰かが「何か食べたい」って言ったら、すぐにつくっちゃう。自分の料理を食べる誰かが喜んでくれることで自分も元気になるんです。



1978年、出生于戸田市。2018年在东京代代木上原成立了法国餐厅“sio”，连续三年摘得米其林一星。鸟羽先生点评，“我将构想一个让饮食行业的所有户田人都幸福的体系。从结果上说，将有利于宣传户田市的魅力。”

▲レストランのシェフがつくる「ハヤシライス」は小さなひと工夫が絶大な味の決め手に

取材2021年11月26日



故郷に第2の「リーガー」を! 子どもの夢を育む先導者 UGAJIN TOMOYA うがじんともや 宇賀神 友弥 さん【プロサッカー選手】

1988年3月23日、戸田市生まれ。戸田南小学校、戸田中学校卒業。小学校時代は戸田南FCで活躍。中学・高校時代は浦和レッズの下部組織に所属。流通経済大学に進学し、社会人チームを経て浦和レッズトップチームへ。ポジションはディフェンダー、ミッドフィールダー。2017年には日本代表に選出。2021年に浦和レッズとの契約が満了となり、2022年、FC岐阜へ完全移籍。

Born in Toda City on March 23rd, 1988. Professional soccer player. Plays as a defender and midfielder. In 2017, he was selected as a Japanese national team player. Currently plays for FC Gifu.
Comment from Mr. Ugajin:
"I think it is my mission to live up the city where I was born and raised. So, I have to be active here in Toda."



生まれ育った戸田を 盛り上げるのが自分の使命

1月1日の早朝、友弥さん、兄・勇太さん、弟・隼人さんの3兄弟は毎年必ず、荒川の土手に集合。そして、戸田橋から笹目橋までを3人で走ります。昔も今も変わらない、3兄弟の1年のスタートです。

戸田で少年時代を過ごした友弥さんは、学校から帰るとランドセルを玄関に放り投げ、校庭や戸田橋の高架下へ一目散。暗くなるまでボールを蹴っていました。「川のすぐそばに住んでいたので、ポートコースや土手を走ることも多かったですね。とにかくサッカー一色の毎日でした」と振り返ります。

土手や高架下など自然の中でボールを蹴る姿が友弥さんの原風景。だからこそ、地元・戸田への熱い思いは格別です。「戸田をサッカーで盛り上げたい。子どもたちにサッカーの楽しさを知ってもらいたいし、夢を持ってもらいたい」と2018年に立ち上げたNPO法人「Effort & Dream」では、現役選手として活躍する傍ら、さまざまな取り組みで戸田市のスポーツ振興に貢献しています。



「UGAJIN CUP」もその1つ。「思い出に残るような大会を子どもたちに味わってもらいたい」、そして、「戸田の子どもたちに埼玉の強豪などと対戦する機会を提供し、レベルの高さを体感してもらいたい」という思いから実施。2021年で5回目を迎えました。「戸田から第2の「リーガー」を誕生させる！それが活動の原動力になっています」と友弥さん。このほか、フットサルコートを整備したり、フットボールスクールを開講するなど、戸田市のサッカー環境を強力に後押ししています。

さらに、2019年10月、台風19号で荒川が氾濫し、彩湖・道満グリーンパークが甚大な被害を受けた時、「台風の翌日、弟と現場を見に行ったらとんでもないことになっていた。何かできないかという一心でした」と話す友弥さんは、すぐさま行動を起こしました。現役「リーガー」たちに呼びかけ、復興のための「きみのてプロジェクト」を設立。集まったお金

を、彩湖・道満グリーンパークとさいたま市の「レッズランド」の芝生を修復する費用に充てました。

「海外のサッカー選手は、社会貢献などを普通にやっている。日本でも、現役時代の発信力がある時に社会に役立つ何かをやっていく必要があるのでは」と感じていたという友弥さん。「ビジネスは下手でも、熱量には自信がある。思いを伝えることで、多くの人を巻き込み、サッカー選手のイメージを変えていきたい」と熱く語ります。

NPO法人「Effort & Dream」ではサッカーだけにとらわれず、スポーツ全体を盛り上げようと活動を広げています。女子の活躍の場を広げるため昨年からは女子アスリートの支援も開始。また、球技全般を気兼ねなく楽しめる公園の整備も目指しています。とはいえものの、NPOの活動では時に困難が立ちほだかり、心が折れることもあったそうですが、「自分の生まれ育ったまちを盛り上げるのが自分の使命だと思っています。だから、戸田でやらなければ意味がないんです」ときっぱり。

今年も来年も、兄弟3人で土手を走りながら友弥さんの瞳に映る景色、そして胸に去来するものこそ、友弥さんを駆り立てる原動力になっているのでしょう。



1988年3月23日、出生于戸田市。足球运动员。主打后卫、中场。2017年被选为日本代表队球员。隶属于FC岐阜（岐阜足球俱乐部）。宇贺神先生点评，“让我养我的家乡欣欣向荣是我的使命。因此我把事业的舞台选在了戸田，否则就没有意义。”

好きな言葉は?

座右の銘は「努力に勝る天才なし」です。「努力」に限界、終わりはありません。自分自身もそうやってこれまで、前進してきました。なので、NPO法人名の「Effort」は英語で、フットボールスクール&フットサルコートの名前「ESFORCO」はポルトガル語で「努力」という意味。一歩ずつ、階段を上がってこうという思いを込めています。

最近始めたことは?

ゴルフですね。兄や弟、それから父親と一緒に、浦和の河川敷や栃木県などのゴルフ場に出掛けています。あと、4年ほど前から、自分自身のトレーニングのために始めたのが「ハイアルチ」です。これは、低酸素環境で運動するものですが、アスリートだけでなく一般の人にもぜひ体感してもらいたいと、2022年3月、浦和に専用のジムを開設しました。ハイアルチで体を鍛えて、健康への意識を高めてもらえたら嬉しいですね。

取材2021年12月25日